

<情報発信>

1法人が活動内容を知ってもらうために、PRしてきたけれど広がらない

知らない人に情報をどうやって届けるか

やり方が分からないことが問題

担い手の部分を一緒にPRして、できる人に協力してもらえると助かるとPRしていくのはどうか

危ない時に集まっているわけだから、協議体からの発信で、何か情報をだしたらいいのでは？

協議体という言葉は説明しにくい、いいグループ名、チーム名があるといい

<買い物支援（移動販売）>

37の集会所の駐車場の有無

隣接地に移動販売車が入って販売できるスペース（普通車3台程度）

集会所の利用状況の把握

集会所に行けない人はどうするか

どこにどういうことで困っている人がいるのか、地図に落とし込んではどうか

本当に必要なのは誰なのか、買い物難民が何人いるのか

取りまとめ役が負担になって、嫌になってしまうので、地元との連絡網のような仕組みがあると一歩手前としていいのではないか

<調査方法>

地域包括支援センターは、6～11月にかけて、75歳以上の老老世帯と独居高齢者のところに、民生委員さんに協力していただき、訪問している
みどりの森は、配食サービス利用者に毎年アンケートしている
さわやかクラブは、理事会での賛同があればアンケートに協力してくれる
地域交流サロンでも、アンケートは一生懸命答えてくれる
社協の歳末慰問品について、民生委員さんを通じて配布（心配な方は連絡）

<その他>

家から出てこない方は、包括が行う独居高齢者への訪問調査や配食サービスでのアンケートが有効ではないか

介護保険などの公的支援の対象までにはならないけど、誰かのちょっとした手助けが必要な狭間の人困っているのではないか